

Q4 沖縄にはどれだけの米軍基地があるのですか。

A

沖縄県には、31の米軍専用施設があり、その総面積は1万8,454ヘクタール、本県の総面積の約8%、人口の9割以上が居住する沖縄本島では約14%の面積を占めています。

その規模は東京23区のうち13区を覆ってしまうほどの広大な面積です。

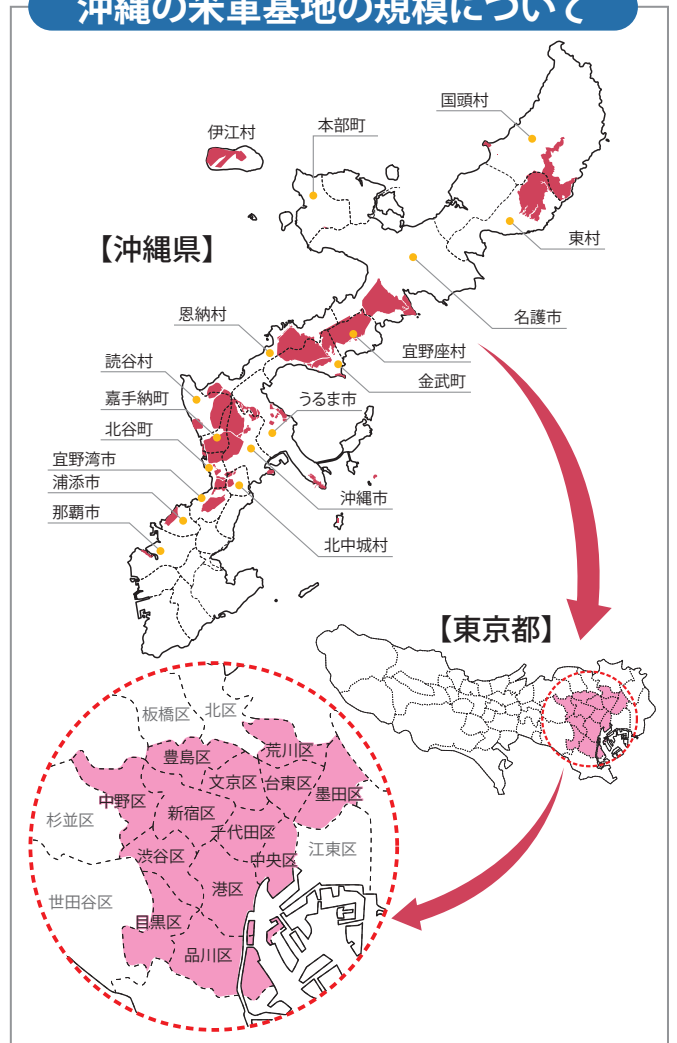
沖縄が本土に復帰した昭和47年(1972年)当時、全国の米軍専用施設面積に占める沖縄県の割合は約58.7%でしたが、本土では米軍基地の整理・縮小が沖縄県よりも進んだ結果、現在では、国土面積の約0.6%しかない沖縄県に、全国の米軍専用施設面積の約70.3%が集中しています。

(令和7年1月1日現在)

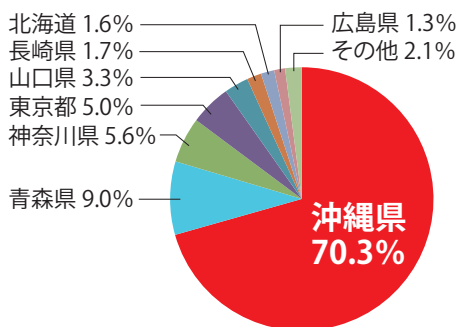
また、陸上だけではなく、沖縄県及びその周辺には、水域27カ所と空域20カ所が訓練区域として米軍管理下に置かれ、漁業への制限や航空経路への制限等があります。また、その規模は、水域が九州の約1.3倍、空域が北海道の約1.1倍の広大なものとなっています。

(水域は令和6年3月31日現在、空域は平成29年3月31日現在)

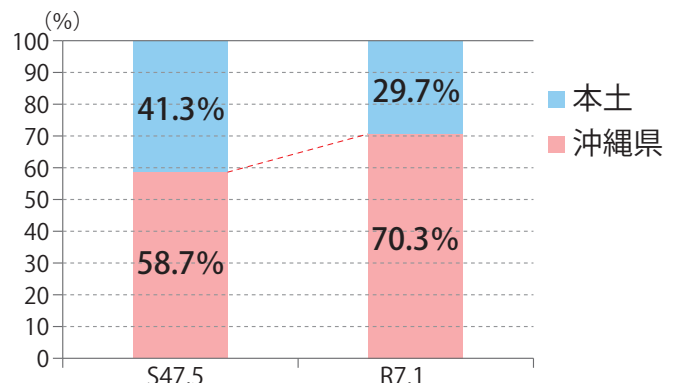
沖縄の米軍基地の規模について



※東京23区のうち色塗りの部分の13区は約1万8,701ヘクタール。



■米軍専用施設面積の割合



■米軍専用施設面積の割合の比較(復帰直後と現在)

キーワード

※米軍専用施設・・・専(もっぱ)ら日米地位協定のもとで在日米軍のみにより管理、運営され、基本的にはその運用に国内法が適用されず、また、立ち入り許可なども米軍の裁量によりなされる施設

※本ページで記載している面積、割合等は米軍専用施設のものであり、米軍が自衛隊等の施設を一時使用(共同使用)している面積は除いています。

沖縄県の米軍基地

※地位協定第2条第4項(b)には、北部訓練場、キャンプ・ハンセン、ホワイト・ビーチ地区、浮原島訓練場、那覇飛行場の他に、那覇基地内及び与座岳分屯基地内に嘉手納飛行場、久米島分屯基地内に鳥島射撃場の一部地域が所在している。

